

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.4-1

まちづくりの目標		第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)	評価責任者	市民生活部長	
基本事項	施策名	第1節 環境にやさしいまちづくり	所管部署名	市民生活部環境課	
	施策の展開	1	地球環境の保全	関連部署名	都市計画部開発建築課
		2	資源循環型社会の推進		
		3	自然環境の保全		
		4	快適な生活環境の保全		
		5	環境配慮意識の醸成		
関連する個別計画・方針等	吉川市環境保全指針 吉川市エネルギービジョン 吉川市一般廃棄物処理基本計画 吉川市環境配慮率先実行計画	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者・行政が一体となって、脱炭素社会の実現など地球規模の環境問題に積極的に取り組む社会をめざします。 ・持続可能な資源循環型社会の構築をめざします。 ・生物多様性の理解を広め、人と自然が共生する社会をめざします。 ・公害問題のない、安心して暮らせる生活環境をめざします。 ・より良い環境、より良い未来を創っていこうとする環境配慮意識の醸成をめざします。 		

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
吉川市環境配慮率先実行計画における温室効果ガス総排出量	t-CO2	5,011	4,862	集計中	44.2% ★	4,674
		R1	R4	R5	達成度が低い	R8
1人1日当たりのごみ排出量	g	823	837	809	42.4% ★	790
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 43.3%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	1人1日当たりのごみ排出量については、コロナ渦において増大したものの、全体として減少傾向となっている。また、温室効果ガス総排出量については、庁舎の再エネ導入を行ったことから調整後排出量に一定の効果が見られた。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	ごみの減量や適正処理に関する市民ニーズを施策に取り込んでいる。また、エコオフィス吉川の取り組みを通じて、環境にやさしいまちづくりが推進されるため、市民ニーズを反映できている。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	吉川市環境保全指針の5つの行動方針に基づく事務事業で構成されており、事務事業の構成は妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題		総合評価
1人1日当たりのごみ排出量については、家庭系ごみはコロナ渦を除いては減少傾向が続いているが、事業系ごみは増加傾向が続いており、目標値の達成は現時点では困難である。また、温室効果ガス総排出量については、庁舎の再エネ導入を行ったことから調整後排出量に一定の効果が見られた。		評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	ごみの減量については、引き続き市民の3R意識を推進するため、周知啓発活動を実施し、ごみの分別や排出方法の周知徹底を図るとともに、不用品の再使用などの啓発に努めていく。 また、温室効果ガス排出量の削減を一層進めるため、公共施設の再エネ導入の検討を引き続き行っていく。
-------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.4-2

まちづくりの目標		第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)	評価責任者	都市建設部長	
基本事項	施策名	第2節 健全な水環境の保全	所管部署名	都市建設部河川下水道課	
	施策の展開	1	水環境保全の推進	関連部署名	市民生活部環境課
		2	下水道事業の管理運営		
		3	浄化槽の適正管理の推進		
		4	農業集落排水事業の管理運営		
	関連する個別計画・方針等	吉川市生活排水処理計画		施策の目的	・河川や排水路等の水質を改善し、良好な水環境をめざします。
吉川市下水道事業経営戦略					
吉川市農業集落排水事業経営戦略					

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
公共下水道水洗化率	%	96.5	97.1	97.1	600.0% ★★★★★	96.6
		R2	R4	R5	達成された	R8
浄化槽法第11条検査受検率	%	16.6	16.9	21.0	32.8% ★	30.0
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 316.4%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	4点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	「公共下水道水洗化率」については、これまで順調に伸びてきていたが、新規の住宅建設戸数が減っていることから、水洗化率は伸び悩んでいる。 「浄化槽法第11条検査受検率」については、上昇傾向にあるものの、目標値を達成することはできなかった。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	公共下水道に接続することにより、生活排水が適切に処理され、水質の保全につながるため、市民ニーズは反映できた。 「浄化槽法第11条検査受検率」の向上により、浄化槽の適正な管理が担保され、水質の保全につながるため、市民ニーズは反映できた。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	河川や排水路の水質向上のためには、公共下水道や合併処理浄化槽への転換は不可欠であり、その維持管理についても重要な要素と考えらえるので、構成される事務事業は適切であると考えます。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 1. 水環境保全の推進については、公共下水道及び合併処理浄化槽への転換件数が伸び悩んできている。 2. 下水道施設の老朽化が進むことにより、維持管理経費が増大することが見込まれる。また、市内全浄化槽のうち、単独処理浄化槽が48.9%を占めており、更なる水質改善の余地がある。 3. 浄化槽法第11条に基づく法定検査受検率は、緩やかに上昇しているものの、県平均を下回っている。 4. 使用者が減少しており、使用料収入が減少し、財政上厳しいものとなっている。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 4点 (4点満点中)

今後の展開	1. 公共下水道への接続依頼や合併処理浄化槽の補助制度を周知を行い、公共用水質の向上を図る。 2. 令和7年度に公共下水道事業経営戦略の改定を行い、料金改定も含めて事業の見直しを図る。 3. 浄化槽法第11条に基づく法定検査率について、引き続き広報等での周知を行い受検率向上に努める。 4. 令和7年度に農業集落排水事業経営戦略の改定を行い、事業の継続も含めて事業の見直しを図っていく。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.4-3

まちづくりの目標		第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)	評価責任者	都市計画部長	
基 本 事 項	施策名	第3節 調和のとれた都市づくりの推進	所管部署名	都市計画部都市計画課	
	施策の展開	1	計画的な土地利用の推進	関連部署名	都市計画部開発建築課
		2	吉川美南駅周辺地域の整備		都市計画部吉川美南駅周辺地域整備課
		3	良好な住環境の維持・向上		
		4	魅力的な地域景観の形成		
		5	公的住宅等の供給促進		
関連する個別計画・方針等	吉川市都市計画マスタープラン 越谷都市計画事業吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業事業計画 吉川市空家等対策計画	施策の目的	・長期的な視点に立ち、地域の特徴を活かした秩序ある土地利用をめざします。 ・良好な住環境を有し、多様な都市機能が充実した市街地の形成をめざします。		

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業面積に対する使用収益開始面積の割合	%	0.0	11.7	13.9	13.9% ★	100.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8
計画的な土地利用への取組に対する満足度(市民意識調査)	%	61.7	63.4	58.7	-90.9% ★	65.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ -38.5%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・都市計画マスタープランに基づく都市計画の決定・変更を行うとともに、計画的な土地利用を推進している。 ・吉川中央地区(組合施行)は、令和3年度に換地処分を行い、事業の完了に向け概ね順調に進んでいる。 ・吉川美南駅東口周辺地区(市施行)は、主要幹線道路の暫定供用と一部産業ゾーンの使用収益を開始した。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・都市計画の決定・変更にあたっては、説明会や案の縦覧を行い、土地所有者や地区住民の合意形成に努めた。 ・吉川中央地区(組合施行)は、組合施行による土地区画整理事業であり、組合員の意見をとり入れながら事業が進んでいる。 ・吉川美南駅東口周辺地区(市施行)は、市施行による土地区画整理事業であり、審議会や地権者の意見を伺いながら事業が進んでいる。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・事務事業の構成は、施策の目標を達成するのに十分な内容となっている。 ※構成する事務事業については裏面に記載	3点
施策に関する現状と課題 ・人口増加に伴い、土地区画整理事業により良好な市街地整備を進めてきたが、今後は人口減少や少子高齢化、自然災害への対応などの課題への対応も含めた、長期的な視点が必要である。 ・吉川中央地区(組合施行)は、清算金の徴収等の組合解散に向けた事務を進めてきた。令和6年度中を目途に組合の解散が認可されるよう関係者と協議を行い、その後の清算事務を含め遺漏なく手続きを進める必要がある。 ・吉川美南駅東口周辺地区(市施行)は、主要幹線道路の暫定供用と一部産業ゾーンの使用収益を開始した。令和6年度からは、順次住宅ゾーンなどの使用収益を開始するとともに、建物移転等の地権者の協力を得る必要がある地権者がいることから、円滑に合意形成を図っていく必要がある。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	・都市計画マスタープラン等の上位計画を踏まえ、引き続き、長期的な視点に立ち、地域の特徴を生かした秩序ある土地利用をめざして着実に事業を推進していく。 ・吉川中央地区(組合施行)は、地権者及び関係者の協力を得ながら、組合の解散手続きを進め、清算事務を行い事業の終了に向けた支援をしていく。 ・吉川美南駅東口周辺地区(市施行)は、市の新たな玄関口にふさわしい土地利用を図るため、「笑顔と緑あふれるみんなの庭」をまちづくりのコンセプトにして土地区画整理事業を地権者及び関係機関の協力を得ながら推進していく。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.4-4

まちづくりの目標		第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)	評価責任者	都市計画部長	
基本事項	施策名	第4節 安らぎとるおいのあるみどりと公園の整備	所管部署名	都市計画部都市計画課	
	施策の展開	1	公園の適切な維持管理	関連部署名	都市建設部河川下水道課
		2	公園の整備と利活用		
		3	緑化の推進とみどりの保全		
		4	水辺空間の充実		
関連する個別計画・方針等	吉川市都市計画マスタープラン		施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水と緑に囲まれた豊かな生活環境の実現をめざします。 ・誰もが楽しみ、憩える公園の整備・管理をめざします。 	

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
住み心地をよいと感じた理由のうち、公園の整備がよいと回答した割合(市民意識調査)	%	65.8	61.2	65.7	-2.4%	70.0
		R3	R4	R5	★ 達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ -2.4%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・公園の整備については、老朽化した遊具や施設の見直しによる再整備を進めている。 ・三輪野江地区に環境教育や憩いの場となる公園の整備を進めている。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・公園の施設・除草等について市民から多くの要望があるが、全てに対応することはできない状況である。速やかに現地を確認し、順次改善等を図っている。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・水と緑に囲まれた豊かな生活環境を実現するためには、公園の整備や維持管理、緑化の推進が必要であり、設定した事務事業は妥当なものである。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 ・都市公園の多くは土地区画整理事業により整備され、20年以上経過した施設が多く経年劣化が進んでいることから、維持管理にかかる財源の確保が課題となっている。 ・公園等の管理協定団体において、除草や清掃などを実施しているが、高齢化などによる継続性の懸念や、各団体の状況を踏まえた仕組みの見直しが求められている。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	・安らぎとるおいのあるみどりと公園の整備を進めるため、令和6年4月に「吉川市公園等維持管理協定に関する要綱」を策定し、管理協定の仕組みの見直しを行った。市民との協働により公園の適切な維持管理に努めるとともに、公園の整備と利活用、緑化の推進とみどりの保全における取り組みを行っていく。
-------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.4-5

まちづくりの目標		第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)	評価責任者	都市建設部長
基本事項	施策名	第5節 暮らしを支える上水道の充実	所管部署名	都市建設部水道課
	施策の展開	1 水道施設の整備	関連部署名	
		2 水の安定供給		
		3 水質管理の充実		
	関連する個別計画・方針等	吉川市水道ビジョン(経営戦略)	施策の目的	・安心・安全でおいしい水の安定した供給をめざします。
吉川市水道事業経営健全化計画				
水道施設更新計画				

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
石綿管布設替えの進捗率	%	77.8	80.0	81.4	35.3% ★	88.0
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8
水の安定供給の取組に対する市民満足度(市民意識調査)	%	87.8	89.5	88.4	27.3% ★	90.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 31.3%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・石綿管の布設替えは、多額の費用と施工区域の交通に配慮しながら実施するため多くの時間を要している。現在は令和14年度の完了を目指し計画的に実施している。 ・水の安定供給に関する市民満足度は、既に目標値に近い水準で推移しているものの、到達には至っていない。	1点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・「安全な水の安定供給への取り組みに対する満足度」は、市民意識調査において継続的に把握している。 ・令和5年度の料金改定の検討においては、「お客様意識調査」を実施し、水道料金や水道施設に関する意見などを反映させた。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・安全で安心な水を持続的に供給していくためには、効率的な水道事業運営や水道施設維持管理などを行っていく必要があることから、本施策を構成する事務事業の構成は妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	3点
施策に関する現状と課題 ・各事務事業の効率化に向け、継続的な改善に取り組んでいるものの、ライフスタイルの変化や節水機器の普及などにより、有収水量の減少に伴い、使用料収入に影響を及ぼしている。 また、安心・安全な水道水を持続的に供給していくためには、老朽化した施設の更新が必要であるが、更新には多額の費用と時間を要する。 このようなことから、安定した収入を得るために料金体系の見直しを図り、水道事業運営を持続可能なものとしていく必要がある。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 2点 (4点満点中)

今後の展開

・持続可能な水道事業運営のため、水道ビジョン(経営戦略)の見直しを行い、水道料金の改定や計画的な施設更新を行っていく。
 また、事務事業の効率化と市民満足度の向上を目指し、事業の改善には継続して取り組んでいく。

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.4-6

まちづくりの目標		第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)	評価責任者	都市計画部長
基本事項	施策名	第6節 災害に強い都市の整備	所管部署名	都市計画部開発建築課
	施策の展開	1	建築物等の安全性の確保	都市建設部河川下水道課
		2	公共インフラ設備の耐震化の推進	総務部財政課
		3	河川の整備	
		4	雨水処理施設の整備	
		5	雨水処理施設管理の充実	
	関連する個別計画・方針等	吉川市都市計画マスタープラン 吉川市国土強靱化地域計画 吉川市建築物耐震改修促進計画 吉川市総合治水計画 中川流域関連吉川公共下水道事業計画	施策の目的	・災害発生時に日常生活が続けられるまちをめざします。 ・大雨による河川の氾濫や浸水被害が発生しないまちをめざします。

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
住宅の耐震化率	%	91.0	-	-	-	95.0
		H30	R4	R5		R7
河川整備の取組に対する市民満足度(市民意識調査)	%	52.4	65.4	53.8	18.4% ★	60.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 18.4%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・倒壊の危険性の高い旧耐震基準の住宅は、築後40年以上経過しており、建替や解体も進み、住宅の耐震化率は上昇していると推測する。耐震化率は住宅土地統計調査の数値を用いており、令和5年度調査結果は現時点で未公表である。 ・河川整備の取組では、河川除草面積や河川改修工事の延長が、目標値に対して実績が上回った。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・旧耐震基準の住宅の居住者は、耐震改修にあたり、多額の費用を要するため、補助制度を設け、費用負担の軽減を図っている。 ・河川整備の取組では、河川改修工事の他、各雨水ポンプ施設の適切な維持管理により、故障リスクの低減を図り、浸水被害の軽減に努めている。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・施策の目的を達成するために必要となる災害対策に係る事務事業により構成しており、妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	3点
施策に関する現状と課題 ・旧耐震基準の住宅の居住者は、核家族化により、高齢者世帯が多く、次の世代が継続して居住する見込みがないことなどから、多額の費用を要する耐震改修が進んでいない。 ・河川整備の取組では、上第二大場川の改修工事や、各雨水ポンプ施設の適切な維持管理により、浸水被害の軽減が図られているが、今後ますます豪雨災害の激甚化、頻発化が予想されるため、更なる対策の強化が課題である。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	・住宅の耐震化については、引き続き、所有者に倒壊の危険性と耐震化の必要性、また、補助制度等について周知・啓発するとともに、耐震改修に係る費用負担の軽減を図る。 ・河川整備については、市が実施している河川改修の早期完成に努めるとともに、国や県に対して河川整備の促進を要望していく。また、引き続き雨水ポンプ施設の適切な維持管理を実施して、浸水被害の軽減を図る。
-------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.4-7

まちづくりの目標		第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)	評価責任者	都市建設部長
基本事項	施策名	第7節 快適な道路環境の充実	所管部署名	都市建設部道路課
	施策の展開	1 幹線道路の整備	関連部署名	
		2 生活道路の整備		
		3 道路の維持管理の充実		
	関連する個別計画・方針等	吉川市都市計画マスタープラン		施策の目的
吉川市橋梁長寿命化修繕計画				

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
道路整備の取組に対する市民満足度(市民意識調査)	%	51.5	48.7	48.2	-38.8% ★	60.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法		評価の理由・説明		評価点
評価軸① 施策の達成状況	施策成果指標の達成度の平均 ⇒ -38.8%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点		1点
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・幹線道路は、東西の骨格となる都市計画道路越谷吉川線の整備を、県と市の事業で進めており、交通の円滑化と利便性の向上に努めている。しかし、既に整備した道路においては、経年劣化が進み舗装のひび割れや穴、段差等が増えており、随時補修をしているものの、道路後退等の未舗装道路の対応も含めて十分ではない。 ・吉川駅北口駅前広場は、様々な課題があることから利用者の交通安全を最優先とした改修の実施設計を作成した。		3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・市民からは、道路の維持補修を求める要望が多いが、速やかに状況を確認し危険性や緊急性等の優先度を考慮しながら順次対応している。 ・市民意識調査の結果では、住み心地をよいと感じる理由に、幹線道路と生活道路の整備ともに6割程度となっていることから、概ね理解が得られているものと考えられる。		3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・快適な道路環境の充実には、交通利便性をより向上させるための幹線道路の整備や、安全に利用できる道路としての維持管理が重要であり、設定した事務事業は妥当なものである。 ※構成する事務事業については裏面に記載		4点
施策に関する現状と課題				総合評価
・都市計画道路越谷吉川線の整備や、道路の補修などを実施するとともに、吉川駅北口駅前広場の改修を進めるための実施設計を作成した。 ・閉庁日においても職員が対応できる体制を整え、道路施設の維持・管理に努めた。 ・道路に関する要望苦情は多く、速やかな対応に努めているものの、要望苦情に対する処理率は令和5年度で68%となっていることから、地域の要望に沿った道路の整備や、除草などの維持管理の充実を図っていく必要がある。				評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	・誰もが安全で快適に道路を通行できるように、越谷吉川線の整備をはじめ、新川橋から西側における越谷総合公園川藤線の整備に向けた測量に着手するなど幹線道路の整備を推進していく。また、新たに旭・三輪野江地区における地域の要望に沿った生活道路の整備を進めるとともに、既設道路の除草や防草対策などによる維持管理の充実を図っていく。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.4-8

まちづくりの目標		第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)	評価責任者	都市計画部長
基本事項	施策名	第8節 持続可能な公共交通の充実	所管部署名	都市計画部都市計画課
	施策の展開	1 市内公共交通の充実	関連部署名	
		2 都市間交通の充実		
		3 交通利便性の向上		
	関連する個別計画・方針等	吉川市都市計画マスタープラン		施策の目的

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
	公共交通の取組に対する市民満足度(市民意識調査)		%	45.8	51.6	47.5	40.5% ★
R3				R4	R5	達成度が低い	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明		評価点
	評価軸① 施策の達成状況	施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 40.5%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点		
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・公共交通事業者をはじめ、障がい者団体などの関係団体、市民、行政機関などで構成する地域公共交通協議会を設置し、地域公共交通計画の策定に向けて、意見を伺い、交通ニーズ調査を実施した。			3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・市民からの要望を踏まえて、公共交通事業者への要望を行っているが、運転士不足や採算性などの課題があり、市民ニーズを反映できないことがある。			2点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	路線バスの運行を基軸とした公共交通網の整備や、公共交通に関する要望活動など、施策の体系に基づいた事務事業で構成しており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載			4点
評価	施策に関する現状と課題				総合評価
	・バス路線については、市民から寄せられる要望などを基に事業者と協議を行っているが、増便や路線の新設等については、運転手不足や利用者減少に伴う採算性の課題から実現が難しい状況である。 ・鉄道については、沿線自治体とともに要望活動を実施してきた結果、強風に伴う運休対策等の改善や利用環境の向上につながってきているが、市民からの要望の多い深夜帯における運行時間の延長は夜間メンテナンス実施等から実現は困難な状況である。 ・地域公共交通協議会を設置し、地域公共交通計画の策定に向けて、意見を伺い、交通ニーズ調査を実施した。				評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	持続可能な公共交通の充実のためには、鉄道、路線バス、タクシーなどの公共交通事業者だけでなく、市民や行政が協働することが重要である。公共交通事業者をはじめ、障がい者団体などの関係団体、市民、行政機関などで構成する地域公共交通協議会において議論を重ね、令和7年度を目途に地域公共交通計画を策定し、公共交通の利用環境の向上、運行に関する情報提供、事業者への要望活動、及び利用促進の啓発を行っていく。
-------	--

